



FRA5014 LabVIEW ドライバ

取扱説明書

FRA5014 LabVIEW ドライバ

取扱説明書

登録商標について

LabVIEW は, 米国 National Instruments Corporation の登録商標です。

Windows は, 米国 Microsoft Corporation の商標です。

Adobe, および Acrobat は, 米国 Adobe Systems, Inc.の商標です。

その他の会社名, 商品名等は, 一般に各社の商標, または登録商標です。

はじめに

このたびは「FRA5014 サーボアナライザ」をお買い求めいただき、ありがとうございます。
「FRA5014 LabVIEW ドライバ」は FRA5014 サーボアナライザ専用の LabVIEW 用計測器 ドライバ
です。

●お読みいただくにあたって。

この説明書は、お読みになる方がお使いになる OS (Microsoft Windows 7/8.1/10 以降 日本語版)
の

基本的な操作をご存じであることを前提に記述しております。Windows の基本操作や、クリッ
ク、ドラッグ等の用語に関しては、Windows のユーザーズガイド等をご覧ください。

●この説明書の章構成は次のようになっています。

1. 概 要

「FRA5014 LabVIEW ドライバ」の概要を説明しています。

2. 操作 VI

各操作 VI について説明しています。

—— 免 責 事 項 ——

「FRA5014 LabVIEW ドライバ」(以降、本ソフトウェアと略記)は、株式会社エヌエフ回路設計ブロック
(以降、当社と略記)が十分な試験および検査を行って出荷しております。

万一不具合がありましたら、当社または当社代理店までご連絡ください。

本ソフトウェアの使用により万一損害が生じたとしても、当社はその損害について一切の責任を負いま
せん。また、本ソフトウェアに不備があった場合でも弊社は修正およびサポートの義務を負わないものと
します。ご使用はお客様の責任において行なってください。

目 次

	ページ
1. 概 要	1-1
1.1 概 説	1-2
2. 操作VI	2-1
2.1 VIIについて	2-2
2.2 VIツリー	2-2
2.3 サンプル	2-2
2.4 VISA初期化	2-3
2.5 VISAクローズ	2-4
2.6 CALibrationサブシステム	2-5
2.7 INPutサブシステム	2-6
2.8 MEASureサブシステム	2-8
2.9 SENSEサブシステム	2-9
2.10 SOURceサブシステム	2-14
2.11 STATusサブシステム	2-18
2.12 SYSTemサブシステム	2-20
2.13 共通コマンド一覧	2-21

1. 概 要

1.1 概 説	1-2
---------------	-----

1.1 概 説

本ドライバはエヌエフ回路設計ブロック製 FRA5014 の LabVIEW 用計測器 ドライバです。

本ドライバを用いることにより, FRA5014 のプログラムメッセージの詳細に煩わされることなくアプリケーションを構築できます。

*このドライバを作成するにあたり以下の環境にて動作確認を行っております。

- OS S:Windows7/8.1(32-bit/64-bit), Windows10 以降
- NI-VISA:Ver2023Q3

尚, LabVIEW のバージョンによっては各バージョン間の整合性をとるために自動的に VI を変更することがございます。 その場合はコンピュータの指示に従ってください。

2. 操作 VI

2.1	VIについて	2-2
2.2	VIツリー	2-2
2.3	サンプル	2-2
2.4	VISA初期化	2-3
2.5	VISAクローズ	2-4
2.6	CALibrationサブシステム	2-5
2.7	INPutサブシステム	2-6
2.8	MEASureサブシステム	2-8
2.9	SENSeサブシステム	2-9
2.10	SOURceサブシステム	2-14
2.11	STATusサブシステム	2-18
2.12	SYSTemサブシステム	2-20
2.13	共通コマンド一覧	2-21

2.1 VI について

すべての FRA5014 操作 VI にはエラー入力とエラー出力があります。エラー出力を次に行う VI のエラー入力に接続するというようにエラークラスタのチェーンを作る事によって、LabVIEW のデータフローアーキテクチャにとって自然なエラー I/O を実現することができます。アプリケーションは、必要に応じて途中のエラー状態を監視することもできます。

Close 以外の FRA5014 操作 VI には VISA セッション入力と複製 VISA セッション出力があります。これもチェーン接続としてください。Close には VISA セッション入力だけがありますので、アプリケーションは全体で Initialize から Close までの1本のチェーンとなります。

入力項目に Read がある VI は FRA5014 に設定されている内容を出力することが出来ます。出力する場合はブール制御器を「ON(True)」に設定してください。デフォルトは「OFF(False)」です。

項目名の最後についている () 内はデフォルト設定を表します。たとえば「Read(F)」の場合デフォルト設定が False であることを表しています。同様に数値制御器、表示器にある [] 内は単位を表します。

実際の接続についてはサンプルアプリケーションを参照ください。

以下ではエラー入出力と VISA セッション、および Read 以外の入出力端子について説明します。

2.2 VI ツリー



NF FRA5014 VI Tree.vi

本 ドライバに含まれる VI がダイアグラムに配置されています。

2.3 サンプル



NF FRA5014 sample_sweep.vi

スイープ測定を行います。

< 設定項目 >

- ・上限周波数 ・下限周波数 ・測定点数 ・スイープ間隔
- ・出力電圧 ・出力電圧単位 ・オフセット電圧

< 出力結果 >

- ・測定周波数 ・各チャンネルの利得 ・各チャンネルの位相 ・エラーメッセージ



NF FRA5014 sample_spot.vi

スポット測定を行います。

< 設定項目 >

・測定周波数 ・出力電圧 ・出力電圧単位 ・オフセット電圧

<出力結果>

・測定周波数 ・各チャンネルの利得 ・各チャンネルの位相 ・エラーメッセージ



NF FRA5014 sample_result.vi

NF FRA5014 sample_spot.viで測定した結果を判定することができます。ただしこの VI はサブ VI として使用できません。

<設定項目>

・測定周波数 ・出力電圧 ・出力電圧単位 ・オフセット電圧

・各チャンネルの利得範囲 ・各チャンネルの位相範囲

<出力結果>

・測定周波数 ・各チャンネルの利得 ・各チャンネルの位相 ・判定結果 ・エラーメッセージ

2.4 VISA 初期化



NF FRA5014 Initialize.vi

初期化を行い、内部で NF FRA5014 Reset を実行する事により各種の設定をメモリ初期化実行時と同様にします。

<入力>

ID Check(T)

IDを照合するかどうかを指定します。デフォルトは「Yes(True)」です。

Reset(T)

リセットを行うかどうかを指定します。デフォルトは「Yes(True)」です。

RS232(F)

RS232 で接続する場合に指定します。デフォルトは「No(False)」です。

RS232parameter

RS232 で接続する場合にポートの設定を行います。

デフォルトは以下のとおりです。

parity:none

stop bits:1bit

baud rate:9600

***RS232 で接続する場合、常にフローコントロールは「XON/XOFF」としてください。**

「XON/XOFF」以外の設定では動作を保証できません。

2.5 VISA クローズ



NF FRA5014 Close.vi

NF FRA5014 操作 VI の使用を終了して VISA セッションを閉じます

2.6 CALibration サブシステム



NF FRA5014 Cal.vi

キャリブレーションを実行します。

<出力>

Calibration

キャリブレーションの実行結果を返します。

0: エラー無しで完了

1: エラー発生

2.7 INPut サブシステム



NF FRA5014 INP_Over.vi

過大入力検出レベル(Vrms)の設定/問合せをします。

<入力>

Ch(Ch1)

設定範囲 : Ch1~4

Level[Vrms](0.01)

設定範囲 : 0.01~19.99

<出力>

Query Level[Vrms]

Read=True の時は, 設定されている過大入力検出レベル(Vrms)の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999.99」を返します。



NF FRA5014 INP_Resp.vi

オーバーロード検出時の処理の設定/問合せをします。

<入力>

Parameter(Lamp)

0: Lamp

1: Lamp&Beep

2: Lamp&Beep&Stop

3: Lamp&Beep&Stop&Off

4: Lamp&Stop

5: Lamp&Stop&Off

<出力>

Query

Read=True の時は, 設定されているオーバーロード検出時の処理を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999」を返します。



NF FRA5014 INP_Gain.vi

入力重み付け係数の設定/問合せをします。

<入力>

Parameter(0)

CH1 重み付け係数 $-1.00000E+06 \sim +1.00000E+06$

CH2 重み付け係数 $-1.00000E+06 \sim +1.00000E+06$

CH3 重み付け係数 $-1.00000E+06 \sim +1.00000E+06$

CH4 重み付け係数 $-1.00000E+06 \sim +1.00000E+06$

<出力>

Query Parameter

Read=True の時は, 設定されている入力重み付け係数の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「9999999.00000」を返します。

2.8 MEASure サブシステム



NF FRA5014 Meas_Del.vi

測定遅延時間の設定/問い合わせをします。

<入力>

Time(0)

設定範囲 : 0.00～999.99

<出力>

Query Time

Read=True の時は, 設定されている測定遅延時間の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「9999.99」を返します。



NF FRA5014 Meas_Cyc.vi

積分回数の設定/問い合わせをします。

<入力>

Cycle(1)

設定範囲 : 1～999

<出力>

Query Cycle

Read=True の時は, 設定されている積分回数の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「9999」を返します。



NF FRA5014 Meas_Time.vi

積分時間の設定/問い合わせをします。

<入力>

Time(0.01)

設定範囲 : 0.01～999.99

<出力>

Query Time

Read=True の時は, 設定されている積分時間の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「9999.99」を返します。

2.9 SENSE サブシステム



NF FRA5014 SENS_SWE_All.vi

SWEEP 測定結果を全項目出力します。

<出力>

Data

周波数, ch2 利得(ログ), ch2 位相, ch3 利得(ログ), ch3 位相, ch4 利得(ログ), ch4 位相
以下, 測定点数分のデータを出力します。



NF FRA5014 SENS_SWE_Sel.vi

SWEEP 測定結果を指定された項目 (最大 7 項目) のみ出力します。

<入力>

Parameter(T)

1st (周波数)	0: 出力しない / 1: 出力する
2nd (ch2 利得(ログ))	0: 出力しない / 1: 出力する
3rd (ch2 位相)	0: 出力しない / 1: 出力する
4th (ch3 利得(ログ))	0: 出力しない / 1: 出力する
5th (ch3 位相)	0: 出力しない / 1: 出力する
6th (ch4 利得(ログ))	0: 出力しない / 1: 出力する
7th (ch4 位相)	0: 出力しない / 1: 出力する

<出力>

Data

周波数, ch2 利得(ログ), ch2 位相, ch3 利得(ログ), ch3 位相, ch4 利得(ログ), ch4 位相
のうち Parameter で指定された値を測定点数分出力します。



NF FRA5014 SENS_SWE_Poin.vi

SWEEP 測定結果の測定点数を出力します。

<出力>

Query point

SWEEP 測定結果の測定点数を返します。

***NF FRA5014 SENS_SPOT.vi***

SPOT 測定結果を全項目出力します。

<出力>

Data

周波数, ch2 利得 (ログ), ch2 位相, ch3 利得 (ログ), ch3 位相, ch4 利得 (ログ), ch4 位相

***NF FRA5014 SENS_SPOT_Comp.vi***

SPOT 測定結果を全項目出力します。(複素数形式)

<出力>

Data

周波数, ch2 利得実部, ch2 利得虚部, ch3 利得実部, ch3 利得虚部, ch4 利得実部, ch4 利得虚部

***NF FRA5014 SENS_SPOT_Sel.vi***

SPOT 測定結果を指定された項目 (最大7項目) のみ出力します。

<入力>

Parameter(T)

1st (周波数)	0: 出力しない / 1: 出力する
2nd (ch2 利得 (ログ))	0: 出力しない / 1: 出力する
3rd (ch2 位相)	0: 出力しない / 1: 出力する
4th (ch3 利得 (ログ))	0: 出力しない / 1: 出力する
5th (ch3 位相)	0: 出力しない / 1: 出力する
6th (ch4 利得 (ログ))	0: 出力しない / 1: 出力する
7th (ch4 位相)	0: 出力しない / 1: 出力する

<出力>

Data

周波数, ch2 利得 (ログ), ch2 位相, ch3 利得 (ログ), ch3 位相, ch4 利得 (ログ), ch4 位相のうち Parameter で指定された値を出力します。

***NF FRA5014 SENS_GAIN_Max.vi***

SPOT 測定の利得判定上限値の設定/問合せをします。

<入力>

Parameter(0)

1st -199.99～199.99(CH2/CH1)
 2nd -199.99～199.99(CH3/CH1)
 3rd -199.99～199.99(CH4/CH1)

<出力>

Query Parameter

Read=True の時は, SPOT 測定の利得判定上限値の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999.99」を返します。



NF FRA5014 SENS_GAIN_Min.vi

SPOT 測定の利得判定下限値の設定/問合せをします。

<入力>

Parameter(0)

1st -199.99～199.99(CH2/CH1)
 2nd -199.99～199.99(CH3/CH1)
 3rd -199.99～199.99(CH4/CH1)

<出力>

Query Parameter

Read=True の時は, SPOT 測定の利得判定下限値の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999.99」を返します。



NF FRA5014 SENS_PHAS_Max.vi

SPOT 測定の位相判定上限値の設定/問合せをします。

<入力>

Parameter(0)

1st -180.00～180.00(CH2/CH1)
 2nd -180.00～180.00(CH3/CH1)
 3rd -180.00～180.00(CH4/CH1)

<出力>

Query Parameter

Read=True の時は, SPOT 測定の位相判定上限値の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999.99」を返します。

**NF FRA5014 SENS_PHAS_Min.vi**

SPOT 測定の位相判定下限値の設定/問合せをします。

<入力>

Parameter(0)

- 1st -180.00～180.00(CH2/CH1)
- 2nd -180.00～180.00(CH3/CH1)
- 3rd -180.00～180.00(CH4/CH1)

<出力>

Query Parameter

Read=True の時は, SPOT 測定の位相判定下限値の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999.99」を返します。

**NF FRA5014 SENS_Rep.vi**

SPOT 判定結果の問合せ(全項目出力)を実行します。

<出力>

Data

- Data1(CH2/CH1GAIN) : -1(下限値以下で NG)/ 0(SUCCESS)/ 1(上限値以上で NG)
- Data2(CH2/CH1PHASE) : -1(下限値以下で NG)/ 0(SUCCESS)/ 1(上限値以上で NG)
- Data3(CH3/CH1GAIN) : -1(下限値以下で NG)/ 0(SUCCESS)/ 1(上限値以上で NG)
- Data4(CH3/CH1PHASE) : -1(下限値以下で NG)/ 0(SUCCESS)/ 1(上限値以上で NG)
- Data5(CH4/CH1GAIN) : -1(下限値以下で NG)/ 0(SUCCESS)/ 1(上限値以上で NG)
- Data6(CH4/CH1PHASE) : -1(下限値以下で NG)/ 0(SUCCESS)/ 1(上限値以上で NG)

**NF FRA5014 SENS_PEP_Sel.vi**

SPOT 判定結果の問合せ(一部項目出力)を実行します。

<入力>

Parameter(0)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1st (CH2/CH1 GAIN) | 0: 出力しない / 1: 出力する |
| 2nd (CH2/CH1 PHASE) | 0: 出力しない / 1: 出力する |
| 3rd (CH3/CH1 GAIN) | 0: 出力しない / 1: 出力する |
| 4th (CH3/CH1 PHASE) | 0: 出力しない / 1: 出力する |
| 5th (CH4/CH1 GAIN) | 0: 出力しない / 1: 出力する |
| 6th (CH4/CH1 PHASE) | 0: 出力しない / 1: 出力する |

<出力>

Data

-1(下限値以下で NG)/ 0(SUCCESS) / 1(上限値以上で NG)

2.10 SOURce サブシステム



NF FRA5014 SOUR_Freq.vi

発振器の周波数の設定/問合せをします。

<入力>

Freq[Hz](1000)

設定範囲 : 0.10E-03(0.10mHz)~100.00E+03(100.00kHz)

<出力>

Query Freq[Hz]

Read=True の時は、発振器の周波数の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「9999999.00000」を返します。



NF FRA5014 SOUR_Meas.vi

SWEEP/SPOT 測定の設定/問合せをします。

<入力>

Parameter(STOP)

STOP

SPOT

UP

DOWN

<出力>

Query

Read=True の時は、SWEEP/SPOT 測定の設定を返します。

Read=False の時は無効となり常に「空白」を返します。



NF FRA5014 SOUR_Spac.vi

SWEEP 測定の周波数軸の設定/問合せをします。

<入力>

Parameter(LIN)

LINear

LOGarithmic

<出力>

Query

Read=True の時は, SWEEP 測定の周波数軸の設定の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「空白」を返します。

**NF FRA5014 SOUR_Poin.vi**

SWEEP 測定の測定点の設定/問合せをします。

<入力>

Point (3)

設定範囲 : 3~1000

<出力>

Query

Read=True の時は, 設定されている SWEEP 測定の測定点の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「9999」を返します。

**NF FRA5014 SOUR_Max.vi**

SWEEP 測定の上限周波数の設定/問合せをします。

<入力>

Freq [Hz](100000)

設定範囲 : 0.11E-03(0.11mHz)~100.00E+03(100.00kHz)

<出力>

Query

Read=True の時は, 設定されている SWEEP 測定の上限周波数の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999999.00000」を返します。

**NF FRA5014 SOUR_Min.vi**

SWEEP 測定の下限周波数の設定/問合せをします。

<入力>

Freq [Hz](0.0001)

設定範囲 : 0.10E-03(0.10mHz)~99.999E+03(99.999kHz)

<出力>

Query

Read=True の時は, 設定されている SWEEP 測定の下限周波数の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「9999999.00000」を返します。



NF FRA5014 SOURce Outp.vi

発振器の ON/OFF の設定/問合せをします。

<入力>

Parameter(AC/DC OFF)

0: (AC/DC OFF)

1: (AC OFF)

2: (AC/DC ON)

<出力>

Query

Read=True の時は, 設定されている発振器の ON/OFF の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999」を返します。



NF FRA5014 SOURce Offs.vi

発振器の DC バイアス(V)の設定/問合せをします。

<入力>

Offset[V] (0)

設定範囲 : -10.00～10.00

<出力>

Query Offset[V]

Read=True の時は, 設定されている発振器の DC バイアス(V)の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999.99」を返します。



NF FRA5014 SOURce Volt.vi

発振器の AC 振幅の設定/問合せをします。

<入力>

Volt(0)

設定範囲 : 0.000～7.07(Vrms)

0.000～10.00(Vpk)

Unit(Vrms) : Vrms

Vpk

<出力>

Query Volt

Read=True の時は, 設定されている発振器の AC 振幅の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999.99」を返します。

***NF FRA5014 SOUR Unit.vi***

発振器 AC 振幅の表示単位, 問合せに対する応答単位の設定/問合せをします。

<入力>

Unit(Vrms)

Vrms

Vpk

<出力>

Query Unit

Read=True の時は, 設定されている発振器 AC 振幅の表示単位, 問合せに対する応答単位
の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「空白」を返します。

2.11 STATus サブシステム



NF FRA5014 STAT_Oper_cond.vi

オペレーション・コンディション・レジスタ(OPCR)の問合せをします。

<出力>

Query

オペレーション・コンディション・レジスタ(OPCR)の値を返します。



NF FRA5014 STAT_Oper_Enab.vi

オペレーション・イベント・イネーブル・レジスタ(OPEE)の設定/問合せをします。

<入力>

Parameter(0)

設定範囲 : 0~65535

<出力>

Query

Read=True の時は、設定されているオペレーション・イベント・イネーブル・レジスタ(OPEE)の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「99999」を返します。



NF FRA5014 STAT_Oper_Even.vi

オペレーション・イベント・レジスタ(OPER)の問合せをします。ただし、問合せ後、オペレーション・イベント・レジスタはクリアされます。

<出力>

Query

オペレーション・イベント・レジスタ(OPER)の値を返します。



NF FRA5014 STAT_Oper_Ntr.vi

NF FRA5014 STAT_Oper_Ptr.vi

オペレーション・トランジション・フィルタの設定/問合せをします。

<入力>

設定範囲 : 0~65535

Parameter(0)



NTR(0)/PTR(0): OPCR が変化しても OPER は設定されない

NTR(0)/PTR(1): OPCR が 0 から 1 に変化したときに OPER を 1 に設定

NTR(1)/PTR(0): OPCR が 1 から 0 に変化したときに OPER を 1 に設定

NTR(1)/PTR(1): OPCR が変化したときに OPER を 1 に設定

<出力>

Query

Read=True の時は、設定されているオペレーション・トランジション・フィルタの値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「99999」を返します。



NF FRA5014 STAT_Over_Enab.vi

オーバーロード・イベント・イネーブル・レジスタ(OVEE)の設定/問合せをします。

<入力>

Parameter(0)

設定範囲 : 0~65535

<出力>

Query

Read=True の時は、設定されているオーバーロード・イベント・イネーブル・レジスタ(OVEE)の値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「99999」を返します。



NF FRA5014 STAT_Over_Even.vi

オーバーロード・イベント・レジスタ(OVER)の問合せをします。ただし、問合せ後、オーバーロード・イベント・レジスタはクリアされます。

<出力>

Query

オーバーロード・イベント・レジスタ(OVER)の値を返します。

2.12 SYSTem サブシステム



NF FRA5014 SYST_Err.vi

エラーの問合せをします。

<出力>

Query Error

最新のエラーメッセージを返します。エラーが無い場合は「No Error」を表示します。

Error code

最新のエラーコードを返します。エラーが無い場合は「0」を表示します。



NF FRA5014 SYST_Over.vi

入力信号が動作電圧範囲を超えるか、ユーザー設定の過大入力検出レベルを超えた場合に発生したエラーを解除します。

2.13 共通コマンド一覧



NF FRA5014 CLS.vi

以下のレジスタ等をクリアします。

- スタンダードイベントレジスタ
- オペレーションイベントレジスタ
- オーバロードイベントレジスタ
- エラーキュー



NF FRA5014 ESE.vi

スタンダードイベントイネーブルレジスタの設定/問合せをします。

<入力>

ESE(0)

設定範囲 : 0~255

<出力>

Query ESE

Read=True の時は、設定されているスタンダードイベントイネーブルレジスタの値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999」を返します。



NF FRA5014 ESR.vi

スタンダードイベントレジスタの値の問合せをします。ただし、問合せ後はスタンダードイベントレジスタの全ビットが 0 にクリアされます。

<出力>

Query ESR

スタンダードイベントレジスタの値を返します。



NF FRA5014 IDN.vi

型名等の問合せをします。

<出力>

Query IDN

メーカー名, 型名, 製造番号, ファームウェアバージョンを返します。

**NF FRA5014 OPC.vi**

全ての同期コマンドが完了したときに、スタンダードイベントレジスタの OPC ビット (BIT0) を設定させます。OPC は全ての同期コマンドが完了したときに1を返します。ただし、OPC を実行してもスタンダードイベントレジスタの OPC ビットはクリアされません。

<出力>

Query OPC

Read=True の時は、設定されているスタンダードイベントレジスタの値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999」を返します。

**NF FRA5014 RCL.vi**

SAV でメモリにストアされた状態をリコールします。ただし、出力 ON 状態でリコールすることはできません。

**NF FRA5014 Reset.vi**

機器をリセットし、工場出荷時設定 (出力 OFF 状態で全設定メモリをクリア) に戻します。

**NF FRA5014 SAV.vi**

メモリに現在の状態をストアします。

**NF FRA5014 SRE.vi**

サービスリクエストイネーブルレジスタの設定をします。

<入力>

SRE(0)

設定範囲 : 0~255

<出力>

Query SRE

Read=True の時は、設定されているサービスリクエストイネーブルレジスタの値を返します。

Read=False の時は無効となり常に「999」を返します。

***NF FRA5014 STB.vi***

ステータスバイトレジスタの問合せをします。

<出力>

Query STB

ステータスバイトレジスタの値を返します。

***NF FRA5014 TST.vi***

自己診断結果の問合せをします。

<出力>

Query TST

常に「0」を返します。

***NF FRA5014 WAI.vi***

全ての非同期コマンドが完了するまで、それ以降のコマンドを実行するのを禁止します。

———— 著作権について ————

本ソフトウェアの著作権は当社にあり、日本国著作権法および国際条約によって保護されています。
この取扱説明書の内容の一部または全部を無断で転載することはできません。

———— ご連絡にあたって ————

万一不具合、またはご不明な点がありましたら、お求めになりました当社または当社代理店にご連絡ください。

ご連絡の際は、型式名（または製品名）、バージョンと、できるだけ詳しい症状やご使用の状態をお知らせください。

お 願 い

- ソフトウェアおよび取扱説明書の一部又は全部を、無断で転載又は複製することは固くお断りします。
 - 取扱説明書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
 - 取扱説明書の作成に当たっては万全を期しておりますが、内容に関連して発生した損害などについてはその責任を負いかねますのでご了承ください。
- もしご不審の点や誤り、記載漏れなどにお気づきのことがございましたら、お求めになりました当社又は当社代理店にご連絡ください。
-

FRA5014 LabVIEW ドライバ取扱説明書

株式会社エヌエフ回路設計ブロック

〒223-8508 横浜市港北区綱島東 6-3-20

TEL 045-545-8111

<http://www.nfcorp.co.jp/>

© Copyright 2007-2025, **NF Corporation**

